

令和6年度 各基本方針の実施状況

資料5

【基本方針1】 新たなライフスタイルに対応した豊川観光イメージの創出・確立					
コロナ禍で生じた社会経済活動の大きな転換に伴う新たなライフスタイルに対応し、観光分野においても新たな視点でこの局面に対応していくことが求められています。そのため、これらの変化に対応し、効果的な情報発信により新たな客層も呼び込むとともに、豊川市の様々な資源を活用して様々な業種の事業者が豊川市の観光振興に資する事業を行いやすい環境づくりを行い、新しいコンテンツを創出、磨き上げを行うなど、観光客の呼び込みを図ります。					
アクションプラン	事業数	進捗状況※			
		A	B	C	D
施策（1）新たなライフスタイルに対応したコンテンツの創出・磨き上げ	25	2	20	3	0
① 観光資源の新しい活用方法の検討	2		1	1	
② 新たな観光コンテンツの発掘・磨き上げ	8	2	6		
③ ウィズコロナ時代の誘客	3		3		
④ マッチング・コラボレーション促進	2		2		
⑤ スポーツ、アウトドアレジャー実施場所としての魅力創出・発信	8		7	1	
⑥ オンライン等を利用した観光コンテンツの創出、発信	2		1	1	
施策（2）効果的な情報発信	20	0	20	0	0
① 情報発信手法・内容の見直し	11		11		
② 対象を明確にした情報発信	5		5		
③ 来訪者に情報発信してもらう仕掛けづくり	2		2		
④ 東三河全体での観光イメージづくり	2		2		
合計	45	2	40	3	0
（参考）令和5年度実績合計		3	40	1	1

令和6年度の実施事業	
施策（1）	着地型観光実施事業「マイストーリーとよかわ」体験プログラムの実施（観光協会）
	23号バイパス開通記念イベントでの「とよかわブランドの周知PR」（商工観光課）
施策（2）	豊川市観光ガイドブックの増刷（商工観光課）
	「とよかわの魅力を1万件集めるプロジェクト」（元気なとよかわ発信課）
	シティセールス事業「とよかわ視察ツアー2025」（元気なとよかわ発信課）

総括・課題 （事務局）	観光協会での「マイストーリーとよかわ」体験プログラム事業や、旅行会社および鉄道事業者とタイアップした事業、また、元気なとよかわ発信課でのシティセールス推進事業により、実際に豊川市へ来訪し体験するなど、継続した誘客に繋げる取込を行った。常に情報収集、調査検討し、時代に応じた事業を行う必要がある。
意見 （委員会）	・ウィズコロナ時代の誘客については、コロナ禍が収束しているので、評価Aでも良い。 ・豊川市はスポーツ施設が多く、使いやすい地域である。登山、サイクリングが楽しめる施設を魅力として出せると良い。 ・「365日大葉を食べる人」の活動も、資料の実績には記載されていないが、インスタやTVで紹介されるなど、豊川市のPRにつながっている。

※評価基準：【A】事業の完了または予定より早い進捗、【B】概ね予定どおりの進捗、
【C】予定より遅い進捗、【D】未実施

令和6年度 各基本方針の実施状況

【基本方針2】 観光産業の持続化・発展					
豊川市の観光産業が持続的に発展していくためには、観光の事業の継続性を図る必要があり、観光客が当地に滞在・周遊し、消費する場所や機会を拡大していく必要があります。また、従来型の観光客だけでなく、ビジネスや買い物で訪れる来訪者に対して新たなコンテンツを提供し、多様な客層に対して様々な楽しみ方を提供していくことが必要となります。加えて事業を継承していくため、担い手を確保・育成することにより、持続可能な観光地経営を実現していきます。					
アクションプラン	事業数	進捗状況※			
		A	B	C	D
施策（１）消費機会の拡大	31	4	27	0	0
① 体験・交流プログラムの創出	5		5		
② 周遊促進	8		8		
③ 滞在時間の拡大	6	2	4		
④ 土産物開発ととよかわブランドの活用	5		5		
⑤ 土産物等の販売促進	7	2	5		
施策（２）通年で楽しめる観光地づくり	5	2	3	0	0
① 四季の魅力創出・発信	2	1	1		
② 話題性のあるイベントの実施	3	1	2		
施策（３）インバウンド対策事業	2	0	2	0	0
① 外国人向けコンテンツの検討	2		2		
施策（４）従来型の“観光”に限らない多様な切り口での誘客	9	1	4	4	0
① 教育に着目した誘客	3		3		
② クラブ活動等に着目した誘客	3	1	1	1	
③ ビジネス客に着目した誘客	3			3	
施策（５）担い手の創出・ホスピタリティ醸成	11	1	10	0	0
① 人材育成と担い手の創出	7		7		
② 市民による観光資源の魅力発信	4	1	3		
合計	58	8	46	4	0
（参考）令和5年度実績合計		9	42	7	0

令和6年度の主な実施事業	
施策（１）	ストロベリーロード苺一会（デジタルスタンプラリー）の実施（観光協会） 東上駅～牛の滝遊歩道の再整備及びウォーキングイベントの実施（商工観光課） 再整備した豊川公園を活用した桜まつりの拡充実施（観光協会） とよかわ大葉加工品の磨き上げ（農務課）
施策（２）	豊川産花きを使った「親子で作ろう！ハングングバスケット教室」の開催（農務課）
施策（４）	大橋屋にて開館5周年事業を地元町内会と協働で実施（生涯学習課） スポーツ文化活動等合宿支援事業の実施（商工観光課・観光協会）
施策（５）	「とよかわ観光アカデミー」の実施（観光協会）

総括・課題 （事務局）	農務課で行ったとよかわ大葉加工品の磨き上げや農産物を活かしたイベントにより消費機会の拡大につながった。また、観光協会及び（一社）ほの国観光ビューローで行ったスタンプラリー、商工観光課でのウォーキングイベント、スポーツ文化合宿等合宿補助金の活用により市内の周遊、誘客につながることができた。
意見 （委員会）	・インバウンドについては、個人旅行者（家族友人など）向けのPRに取り組むことで、宿泊客の増加につながるのではないかと。 ・観光協会で行っている「マイストーリーとよかわ」は様々なコンテンツがあり、とても良い取組であり、充実していくと良い。 ・SNSは英語、多言語に訳して配信できるものを検討したい。 ・スポーツ文化活動等合宿支援事業の利用対象施設に民間の施設も追加したらどうか。 ・とよかわブランドを活用したお土産があると良い。

※評価基準：【A】事業の完了または予定より早い進捗、【B】概ね予定どおりの進捗、
【C】予定より遅い進捗、【D】未実施

令和6年度 各基本方針の実施状況

【基本方針3】 誰もが安全・安心・快適に観光ができる環境の整備					
これからの社会は変革と多様性にいかに対応していくかが重要であり、様々な来訪者に対応していくとともに、コロナ禍で進んだ衛生面・防疫面への配慮へも対応していく必要があり、誰もが安全・安心・快適な環境を提供していきます。					
アクションプラン	事業数	進捗状況※			
		A	B	C	D
施策（1）受入環境整備	4	1	3	0	0
① 観光関連インフラの整備	4	1	3		
施策（2）最新技術の活用	4	1	2	1	0
① 新たなサービスの導入検討	4	1	2	1	
施策（3）衛生・防疫対策	2	0	2	0	0
① 衛生・防疫対策	2		2		
合計	10	2	7	1	0
（参考）令和5年度実績合計		2	6	1	1

令和6年度の主な実施事業	
施策（1）	船山古墳公園の整備工事の実施（生涯学習課）
	牛の滝遊歩道の案内標識設置工事の実施（商工観光課）
施策（2）	プレミアム付商品券（デジタル商品券および紙商品券）事業の実施（商工観光課）
	豊鉄バス全線への交通系ＩＣカードの導入支援（市街地整備課）
施策（3）	牛の滝駐車場へ移動型トイレの設置（商工観光課）

総括・課題 （事務局）	生涯学習課による船山古墳公園の整備工事が完了し、商工観光課では牛の滝遊歩道の案内標識の設置及び移動型トイレの設置等を行い、観光環境整備の推進が図られた。また、豊鉄バス全線への交通系ＩＣカードの導入がされたことで、来訪者の周遊促進が期待される。
意見 （委員会）	・ 豊川稲荷の御開帳に向けて、インバウンド含めた観光客の増加が見込まれることから、コインロッカーの設置は必要。 ・ 豊鉄バスがＩＣカード導入し、ＪＲ飯田線の駅も１３駅でＩＣカード利用が拡大したので、周遊促進にプラスとなる。 ・ 訪れる方が観光地を使いやすいよう、草刈等の適切な管理が必要。

※評価基準：【A】事業の完了または予定より早い進捗、【B】概ね予定どおりの進捗、
【C】予定より遅い進捗、【D】未実施

令和6年度 各基本方針の実施状況

【基本方針4】 観光振興施策の推進に向けた体制構築					
アフターコロナを見据えると、全国の観光地が反転攻勢を掛け、誘客の競争が始まることが想定される中で、豊川市単独でこれに対応していくのではなく、隣接自治体・近隣地域と連携をし、相互に強みを生かしながら、地域一帯で誘客を進めていく必要があります。今後は市内外の連携体制の強化と、変化する観光ニーズを地域で共有することで、適宜取組の見直しをしながら施策を推進していきます。					
アクションプラン	事業数	進捗状況※			
		A	B	C	D
施策（１）市内関係者間での連携・推進体制構築	5	0	4	1	0
① 関係者間の連携	5		4	1	
施策（２）広域連携による観光振興施策の推進	5	2	3	0	0
① 東三河地域との連携	2	1	1		
② その他関連地域との連携	3	1	2		
施策（３）取組効果の把握・見直し	4	0	3	1	0
① 施策の進捗確認と効果の把握	4		3	1	
合計	14	2	10	2	0
（参考）令和5年度実績合計		2	10	1	1

令和6年度の主な実施事業	
施策（１）	名鉄主催のGo - machi観光推進会議に参画し、ツーリズムEXPOジャパン2024や香港国際旅行展示会でリーフレットによるPRを実施（商工観光課）
施策（２）	「登録観光地域づくり法人（登録DMO）」の認定を受けた、（一社）ほの国東三河観光ビューローとの連携事業を実施（商工観光課）
	各地のご当地イベントへの参加（観光協会・商工観光課）
施策（３）	桜まつりでのアンケートを基に観光消費額・来場者数等分析を実施（観光協会）

総括・課題 （事務局）	商工観光課及び観光協会において、Go - machi観光推進会議・（一社）ほの国東三河観光ビューローなどと、広域連携による取組を行った。継続的な経済効果等の分析により、事業の取組効果を把握する必要がある。
意見 （委員会）	・御開帳を見に来る方へ「どのようなアピールができるのか」が大事になるのではないかと。 ・アウトレットパーク岡崎という新しいコンテンツを生かして、豊川稲荷に寄ってもらえるような取組を行う。

※評価基準：【A】事業の完了または予定より早い進捗、【B】概ね予定どおりの進捗、
【C】予定より遅い進捗、【D】未実施